



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

オマーン情勢：各地の抗議行動

(5日付オマーン・トリビューン紙他)

オマーン・トリビューン紙など5日付現地各紙は、4日（金）のオマーン各地における集団示威行動の状況について報じている。

## 1. ソハール

- (1) 4日、グローブ・ラウンドアバウトおよびミナ・ラウンドアバウトでは抗議者の座り込みが続いている。近隣州から来た支持者を含め、少なくとも2,000人がグローブ・ラウンドアバウトに集まった。抗議者たちは金曜礼拝において、2月27日の衝突で死亡した1人の抗議者に対する敬意を示した。
- (2) 抗議者は、自らの要求が満たされるまで抗議活動が続けると繰り返し述べた。抗議者の一人は、ナンバープレートを隠した車でやってきて暴力行為を行った人間に対する法的措置を要求する、また、日々の講演やフェイスブック上での（抗議活動の）生中継をスール、サララ、ニズワ、イブリとリンクさせて実施する計画があると述べた。
- (3) 約30名の女性がソハール・ラウンドアバウトの南10キロのスイヒラ・ラウンドアバウトに集まり、抗議者への支持を表明した。
- (4) 検察は2月27日のソハールにおける衝突で1人の市民が死亡した事件の捜査を行っており、同事件の調査委員会を立ち上げた他、被害者の検死を実施する司法命令を発出した。

## 2. マスカットおよびその近郊

### (1) 諮問会議前

少なくとも300人の抗議者が諮問会議前で引き続き抗議活動を行っており、要求が満たされるまでは撤退しない構えである。抗議活動は落ち着いているが、夜になるにつれて抗議者の人数は増加していった。

自発的に抗議活動に加わる女性もおり、女性抗議者用のテントも設営されていた。

抗議者は、食料の調達、講演の企画、交通整理、掃除といった作業を実施するための委員会を組織した。また、夜の礼拝の後、知識人や学識者が幾つかの課題について講演し、抗議者に対し平和的に抗議活動を行うよう助言した。

### (2) 保健省前

職場環境と保健医療センターの改善を要求して、医師の団体が保健省前で午後3時から座り込みを行い、うち数名がサイーディー保健相と会談した。同会談後、医師の代表数名が諮問議会前の座り込みに向かった。医師は、彼らの要求がカーブス国王に伝わることを

望むと述べた。

医師の団体は夜遅くに解散したが、要求が満たされない場合は、5日も座り込みのために戻ってくると述べた。

### (3) シーブ

数百人が、カーブス国王への忠誠を示す平和的な行進を行い、参加者は、同国王への断固たる支持と愛をプラカードや同国王の肖像画を掲げて表明した。同行進には、一般の人々、ビジネスマン、政府機関職員、女性、子どもたちが参加した。

## 3. バフラ州（ダーヒリーヤ地方）

カーブス国王への忠誠を示す行進が行われ、参加者の中には諮問議会議員も含まれていた。

## 4. シナーウ区（ムザイビ州、シャルキーヤ地方）

同州とマフト州（ウスター地方の沿岸部）を繋ぐ道路付近で抗議者が座り込みを開始した。抗議者はテントを設営し、改革を要求するプラカードやスローガンを掲げた。また、シナーウの州への昇格を要求した。

## 5. サラーラ

- (1) サラーラでの平和的な座り込みは開始から1週間が経過し、座り込みへの参加者は増加し続けている。「自由広場（Freedom Square）」という愛称で呼ばれている同州知事事務所前の広場には、数千人が金曜礼拝のために集まった。この集まりの目的は、彼らの要求が満たされるまで平和的な座り込みが続くことを政府に気づかせることにある。50,000人分の雇用創出や求職者に対する150リヤルの交付金、内閣改造などの様々な決定がなされたものの、抗議者はまだ納得していない。
- (2) この度の金曜礼拝に集まった人数について、ある記者は約10,000人と推測した。また、広場が見渡せる建物の屋根にカメラを設置した住民は、5,000人から7,000人と推測した。
- (3) 地元モスクのイマームは、金曜礼拝後の説教で、集まった人々に対して勇敢で忍耐強くかつ平和的であるよう励まし、汚職は「もう十分だ」と言うよう促した。
- (4) 同地域に軍は展開しておらず、限られた警察官が広場近くに止めた警察車両の中に入っていた。